

奈っ自慢子

子どもたちに身に付けさせたい力 文責 寺脇秀司

主体性：^{しやたいせい} ^{ひたすら} ぎ気づく→ か考える→ う動く
人前力： 自ら表現・他者理解・協働

校訓 なせばなる なさねばならぬ なにごとも ならぬは 人の なさぬなりけり
教育目標 夢・実現 ～楽しい3つの力の育成を通して～ 3つの力【つながる力】【わかる力】【えがく力】
愛言葉 あ挨拶 い一生懸命 う動く え笑顔 お思いやり

2月

第16回五島列島小中高校生短歌・俳句コンクール

五島市教育長賞

授業中 ぼくを見つめる 水平線 ひそかに聞こえる 先生の声
中学2年 三島 晃太

心温まる奈留島

中学3年生が奈留島・実践の時間に奈留島のCMを制作し発表しました。CMのテーマは奈留島の自然の美しさと人の優しさ。伝える相手は世界の人々という目的で体育大会の赤組と青組の2つの班に分けてCMを制作し発表しました。昨年から制作に取りかかり、3ヶ月以上時間がかかったという大作でした。



ビデオを鑑賞した感想は、子どもたちは奈留島が大好きなこと。また、誇りに思っていることが伝わりました。総合学習のまとめにふさわしい学習になりました。次年度は本

校が英語学習に取り組んでいることを生かし、英語で制作したら、外国の人にも奈留島のすばらしさが伝わるのではないかと思います。

「ふるさと」は子どもたちの人生の原点。「海の青さ」「人の温かさ」など、すべてが子どもたちの「ものさし」になり、基準として心の中に一生あり続けることだと思います。



CMは学校ホームページで紹介しています。奈留小中で検索し、是非ご覧ください。また、学校ホームページで動画の紹介を始めました。ご覧ください。

ゴミから広がった学び！ご家庭へ

先日、市民グラウンドの周辺にゴミがたくさん落ちていたという情報が学校に寄せられました。



早速、職員が現場に行きゴミを集めてきてくれました。短時間でゴミ袋いっぱい集まったそうです。

お菓子の袋が多かったことから、小学生が集会を行い、確認したところ、ゴミを捨てたことがある子どもたちがかなりいたためその場で指導を行いました。

その後、子どもたちの中から「ゴミ拾いに行こう。」という話が持ち上がり、数名の子どもたちが自主的にごみ拾いに行ったそうです。「失敗から学ぶ心」や「気づくー考えるー動く」主体性を育てるという本校の指導方針が子どもたちに身についていることをたいへんうれしく思いました。

自分から笑顔のあいさつも少しずつですが良くなっています。子どもたちの成長を感じる3学期です。

その後、奈留島のゴミ拾いを行ったご家族があります。あきかん82本、ペットボトル20本ほど集めたそうです。学校での指導が子どもたちの自主性、そして、ご家庭での取組につながった素晴らしい実践だと感心しました。



教育学者森信三先生のしつけの三大原則

- 1 朝のあいさつをする子に。
それには先ず親の方からさそい水を出す。
- 2 「ハイ」とはっきり返事のできる子に。
- 3 席を立ったら必ずイスを入れ、ハキモノを脱いだら必ずそろえる子に。

先生は、これが人間の生き方の最基本と言うべきもので、少なくとも小学校進学までに、もしくは九つまでに習慣化してほしいと記されています。

差別・誹謗中傷の加害者にならないために

53 新型コロナウイルス感染症 人権相談窓口

専用ダイヤル
095-894-3184
●月曜～金曜（祝日・振替休日 除く）
●午前9時～午後5時45分（水曜は午後5時まで）
問い合わせ 長崎県人権・障利対策課 095-826-258

「想像力のスイッチを入れよう」
の文中に出てくる、4つの『』
コロナの情報にも当てはめてみよう

- まだ分からないよね？
- 事実かな、印象かな？
- 他の見方もないかな？
- 何がかくれているかな？

現在、社会問題となっているコロナ感染者や医療従事者への差別。校内ではこの問題は起きていませんが、本校の子どもたちには、
1、不確かな情報に惑わされない。2、不確かな情報を発信しない。3、相手には思いやりの気持ちで接することを指導しています。

今回は小学校5年生の国語で学習する「想像力のスイッチを入れよう」をコロナの情報に当てはめて紹介します。

近所のA社で、新型コロナの患者が出たらしい
…と、友達が言ってるよ！
これだけじゃホントか見分けがつかない…

まだ分からないよね？
とりあえず『保留』続報で、だんだん見えてくるから。

B君の家族はA社で働いているから、
B君も感染してるかもしれないよ！
事実かな、印象かな？
これは事実だな。（確認できる）
これは印象っぽいな。（証拠を言っていない）

きちんと分けないと、「かもしれない」が消えて「B君も感染してる」と思いこんでしまう！
なぜ、[印象]を混ぜてしまうのか
B君を差別しようという悪意ではなく、
注意を呼びかけなきゃという善意のつもり
…で、不確かな情報を流してしまっている！
1人1人の意識で解決！
決めつけ、信じこみ、決めつけ、決めつけ
止めてくれ
広めなければ、被害は出ない
「まだ分からないよね？」
「事実かな、印象かな？」
「他の見方もないかな？」
「何がかくれているかな？」
（結論を）
クダらない
（印象を）
クダらない
（1つの見方に）
カタやらない
（ポットライトの）
力だけ見ない

① 情報を聞いたら、「まだ分からないよね？」と決めつけない。（保留）

② その情報が事実かだれかの思い込みかしっかり見分ける。分からなければ保留する。

③ 不確かな情報は悪意ではなく人のためと善意で流してしまうことが多い。（結果的に人を苦しめる。）

④ 聞いた情報をうのみにしない。本当か、まちがった情報か一度自分で考える。不確かな情報を流さない。

●結論を即断しない。

●情報をうのみにしない

以上2点についてご家庭でも話していただければ幸いです。

リモート学習

コロナ禍により、行事や学校生活においてたくさんの制限があり子どもたちも先生方も窮屈な日々を送っていますが、コロナ禍において普及したのが「リモート」です。出張、研修、しま留学の面接、日本各地の学校と結んでの交流学习等「ピンチをチャンス」にした取組です。

本校は昨年度より京都大学との連携を行い、日本のトップレベルの研究をされている先生方に子どもたちや先生方に講話をしていただいています。



今回もこのご縁で福島県郡山市立湖南小学校のみなさんと放射線について一緒に学習する機会をいただきました。

講師の先生方は千葉、東京、福井、和歌山等日本全国から参加しました。今回の学習の目的は「科学的な目でしっかり見つめ、自分で冷静に判断する力を身につける。」です。

原発事故だけでなく、コロナ禍においても子どもたちにとって、とても必要な力であるということで担任の渡邊先生が計画しました。

また、湖南小学校の子どもたちから奈留小の子どもたちに質問があり、交流機会の少ない本校の子どもたちにとって、たいへん有効な学習になりました。

- （子どもたちの気づき）
- 少し難しい言葉もあったけど、放射線のことをたくさん知ることができて良かったです。「風評被害」をなくするためにこのようなセミナーは大切だとおもいました。
 - コロナでデマを言っている人がいたら正しい情報を教えたいと思いました。
 - これから誰かが「放射能がうつるから、さわんな。」ということを言っている人がいたら注意したいと思ったし、そういうことが無くなればいいなと思いました。

校長の随想（ずいそう）

まもなく2月も終わり、今年度も残りわずかになりました。3学期はまとめの学期として、学習面、生活面ともに4月よりも成長した「小さな自信」を子どもたちに実感させることを目指して指導しています。自主性や多様性等確実に成長しています。

また、授業参観・学級懇談会のご出席ありがとうございました。非常に多くの保護者の方々が出席され、子どもたちもいつもより張り切っていました。

